

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスがーでん			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2025年 7月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 8月 1日 ~ 2025年 8月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の数(常勤)が多い。	人数の配置とともに、職員が声を掛け合いながら連携して部屋の中で必要な情報や立ち位置を常に考慮して支援を行っている。	SNS運用を行い、情報の公開を行っていく。
2	IADL、ADLの2つを取り入れた支援を行っている。	頻回にケア会議やミーティングを行い、情報共有や支援の統一を徹底している。	PDCAサイクルを意識した支援の徹底をしていく。
3	衛生面の徹底管理を行っている。	玩具、室内、てすり等、毎日消毒の徹底を行っている。	公園やお出かけレクなど、行先が固定しがちなため、様々な場所へのお出かけを計画していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応項目2.3について、各マニュアルの配布や説明が不十分であることが理解できた。	口頭での説明が難しいため、書面での通知が必要。	感染症などのマニュアルは、説明が難しいため、書面での通知を行い、各家庭にて目を通してください。HPやSNSでの公表を行う。
2	地域交流が難しい。	事業所が土日休みなので、地域交流会 자체が土日開催のものが多く、現実的に難しい。	行先の下見を十分に行い。安全に外出ができる場所をリサーチし選定する。外出レクのバリエーションを増やしていく。
3	調理レクの回数が少ない。	夏場の調理レクに関して、室温管理が難しい。どうしても高温になってしまい、危険。案内の不足がある。ホームページやSNS運用が必要。	調理レクを充実させる。カレー、焼きそば等、学休日の支援の充実をはかる。